

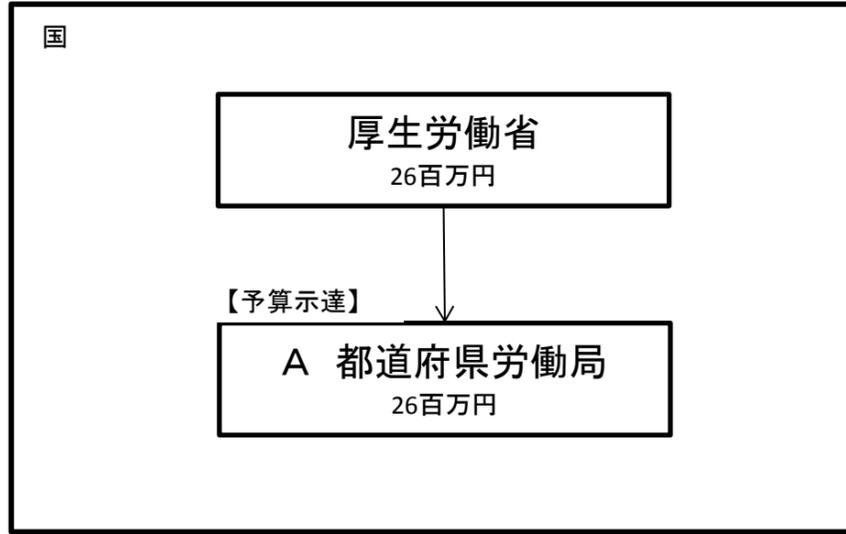
平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	難病相談・支援センターと連携した就労支援の強化			担当部局	職業安定局雇用開発部		作成責任者	
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	障害者雇用対策課地域就労支援室		地域就労支援室長 畑 俊一	
会計区分	一般会計			政策・施策名	IV-3-1 高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策	障害者施策			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ハローワークに「難病患者就職サポーター」を配置し、難病相談・支援センターと連携しながら、就職を希望する難病患者に対する症状の特性を踏まえたきめ細かな就労支援や、在職中に難病を発症した患者の雇用継続等の総合的な就労支援を行う。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	ハローワークに「難病患者就職サポーター」を配置し、ハローワークにおいて相談や専門支援機関への誘導を実施するほか、難病相談・支援センターにおける出張相談や、難病相談・支援センターからハローワーク等への誘導等を実施し、ハローワークと難病相談・支援センターの連携をより強化するとともに、難治性疾患患者の雇用促進を図る。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	33	33	126		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	0	33	33	126	0		
執行額	-	18	26					
執行率(%)	-	55%	79%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	平成27年度に難病患者就職サポーターによる継続支援対象者の就職率を40%とする。	難病患者就職サポーターによる継続支援対象者の就職率	成果実績	%	-	40	47	
			目標値	%	-	30	35	40
			達成度	%	-	133%	134%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	難病患者就職サポーターの活動件数	活動実績	件	-	1,829	4,321		
		当初見込み	件	-	600	2,000	8,000	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト=6千円(X/Y) X:「執行額(千円)」 Y:「難病患者就職サポーターの活動件数」	単位当たりコスト	千円	-	9.8	6	15	
		計算式	X/Y	-	18,000/1,829	25,930/4,321	126,000/8,000	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	100						
	委員等旅費	7						
	庁費	19						
	計	126	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	本事業は、一般の求職者と比して就職が困難である障害者の雇用促進を目的として実施しており、その点において、広く国民のニーズは高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は、国が行う職業紹介と一体的に実施しているものであるため、本事業の実施については、国が実施する方が効率的かつ効果的。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	本事業は、一般の求職者と比して就職が困難である障害者の雇用促進を目的として実施しており、その点において、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	必要最低限の経費となっており、水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	難病患者就職サポーターの配置に必要な経費等、事業の実施に必要な経費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		△	サポーターの委嘱日数が当初の想定を下回る労働局があったため。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	障害者の雇用対策を実施している労働局において、難病患者を対象とする助成金を一体的に支給することにより効率化を図っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は目標を達成しており妥当である。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	障害者の雇用対策を実施している労働局において、難病患者を対象とする助成金を一体的に支給することにより高い効果を確保している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みを上回っており妥当である。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	本事業は、ハローワークが難病相談・支援センターと連携して難病患者に対する就労支援を行う事業である。一方、左記事業のうち難病相談・支援センター事業は、都道府県毎に設置している難病相談・支援センターの運営経費の補助事業であり、適切な役割分担を行っている。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	厚生労働省健康局	146	難病特別対策推進事業		
点検・改善結果	点検結果	広く国民のニーズがある事業であり、継続支援対象者の就職率目標も達成しているが、より効率的かつ効果的な事業の実施のため、執行を適正に管理する必要がある。			
	改善の方向性	実績を踏まえ、引き続き効率的な執行に努める。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	新25-0055
平成25年度	新25-043	平成26年度	571		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



費目・用途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A. 岩手労働局			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
諸謝金	難病患者就職サポーターの活動経費	1.9			
委員等旅費	難病患者就職サポーターの活動経費	0.1			
高齢者等雇用安定促進業務庁費	難病患者就職サポーターの活動経費	0			
計		2	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩手労働局	難病患者就職サポーターの活動経費	2.1	-	-
2	長野労働局	難病患者就職サポーターの活動経費	2	-	-
3	福岡労働局	難病患者就職サポーターの活動経費	2	-	-
4	熊本労働局	難病患者就職サポーターの活動経費	2	-	-
5	岐阜労働局	難病患者就職サポーターの活動経費	2	-	-
6	北海道労働局	難病患者就職サポーターの活動経費	1.9	-	-
7	静岡労働局	難病患者就職サポーターの活動経費	1.9	-	-
8	岡山労働局	難病患者就職サポーターの活動経費	1.9	-	-
9	東京労働局	難病患者就職サポーターの活動経費	1.8	-	-
10	大阪労働局	難病患者就職サポーターの活動経費	1.7	-	-